

評価対象年度	平成25年度	<b>施策評価シート(震災復興用)</b>	政策	5	施策	3
<b>施策名</b>			<b>3</b>	<b>上下水道などのライフラインの復旧</b>		<b>施策担当部局</b>
「宮城県震災復興計画」における体系	<b>政策名</b>	<b>5</b>	<b>公共土木施設の早期復旧</b>		<b>評価担当部局(作成担当課室)</b>	土木部(下水道課)
				<b>【公共土木施設】</b>		

<b>施策の方向</b> (「宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画」の行動方針)	<b>① 下水道の整備</b>
	◇ 機能が停止した流域下水道の3処理場(仙塩, 県南, 石巻東部)における処理機能を早急に復旧する。 ◇ 被災時においても汚水排除の基本機能を確保し, 代替処理機能を備えるなど, 迅速に復旧できる施設とするとともに, 下水汚泥をエネルギーとして再利用するなど, エネルギー循環型の下水道システムを構築する。
	<b>② 上水道, 工業用水道の整備</b>
	◇ 応急仮復旧箇所の本復旧を行うとともに, 震災被害の検証や危機管理体制の再構築の検討を行い, 施設の耐震化や緊急時のバックアップ体制の整備を推進する。

決算(見込)額(千円)	年度	平成23年度(決算額)	平成24年度(決算額)	平成25年度(決算(見込)額)
	県事業費	17,840,414	32,238,967	8,269,713

※決算(見込)額は再掲分含む

<b>目標指標等</b>	<b>■ 達成度</b>	A:「目標値を達成している」(達成率 100%以上)    B:「目標値を達成しておらず, 達成率が80%以上100%未満」				
		C:「目標値を達成しておらず, 達成率が80%未満」    N:「実績値が把握できない等の理由で, 判定できない」				
	<b>■ 達成率(%)</b>	フロー型の指標: 実績値 / 目標値    スtock型の指標: (実績値 - 初期値) / (目標値 - 初期値)				
		目標値を下回ることを目標とする指標: (初期値 - 実績値) / (初期値 - 目標値)				
		初期値 (指標測定年度)	目標値 (指標測定年度)	実績値 (指標測定年度)	達成度 達成率	計画期間目標値 (指標測定年度)
1	被災した流域下水道施設の復旧率(%)	0% (平成22年度)	100% (平成25年度)	100% (平成25年度)	A 100.0%	100% (平成25年度)

平成25年 県民意識調査	満足群の割合 (満足+やや満足)	不満群の割合 (やや不満+不満)	満足群・不満群 の割合による 区分
	51.1%	18.8%	I

※満足群・不満群の割合による区分

- I: 満足群の割合50%以上  
かつ不満群の割合25%未満
- II: 「I」及び「III」以外
- III: 満足群の割合50%未満  
かつ不満群の割合25%以上

<b>■ 施策評価（原案）</b>	<b>順調</b>
-------------------	-----------

<b>評価の理由</b>	
<b>目標指標等</b>	・被災した下水道施設等について、公共土木施設災害復旧事業により施設復旧を行うにあたり、被災した流域下水道施設の復旧率を目標値として設定し、平成25年度までの3年間で完了する計画とした。
<b>県民意識</b>	・被災した上下水道などのライフラインの復旧は、身近な問題であり重要な施策として県民の約82%に重要であると認識されている。その復旧に対する満足度については51.1%が満足群の回答をしており、不満群については18.8%となっていることから、復旧が順調であると判断する。
<b>社会経済情勢</b>	・東日本大震災で県内の上下水道施設は甚大な被害を受けており、早期の復旧が強く望まれている。
<b>事業の成果等</b>	・被災した流域下水道施設について、平成25年度末において全ての流域下水道施設において災害復旧を完了していることから、順調に推移していると判断する。 ・下水道だけではなく、上水道、工業用水道及び廃棄物処理においても、全ての事業で成果が出ている。施策の目的である、東日本大震災により被災した下水道の整備並びに上水道、工業用水道の整備は、順調に推移していると判断する。

※ 評価の視点： 目標指標等、県民意識、社会経済情勢、事業の実績及び成果等から見て、施策に期待される成果を発現させることができたかという視点で、総合的に施策の成果を評価する。

<b>施策を推進する上での課題と対応方針（原案）</b>	
課題	対応方針
・流域下水道、広域水道、工業用水道の復旧は完了したが、市町村所管の水道施設については、今後も復旧支援の継続的な取り組みが必要である。	・市町村所管の水道施設については、引き続き復旧支援事業の継続を図る。

評価対象年度 平成25年度

政策 5 施策 3

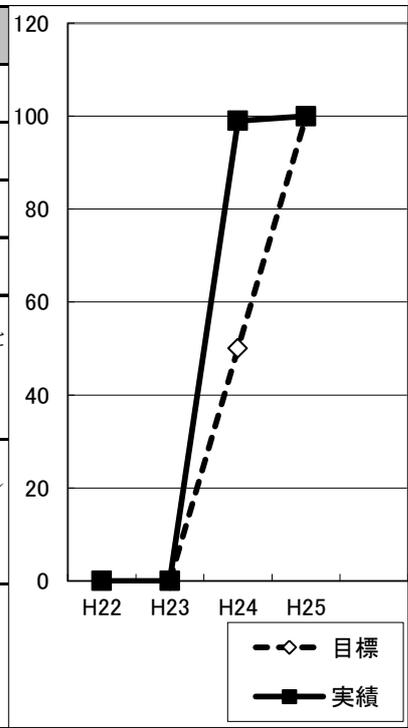
**目標指標等の状況**

■達成率(%) フロー型の指標:実績値/目標値 ストック型の指標:(実績値-初期値)/(目標値-初期値)  
 目標値を下回ることを目標とする指標:(初期値-実績値)/(初期値-目標値)

1	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26
	被災した流域下水道施設の復旧率(%) [ストック型の指標]	指標測定年度	H22	H23	H24	H25	-
		目標値	-	0	50	100	-
	被災した流域下水道施設の復旧した割合	実績値	0	0	99	100.0	-
		達成率	-	-	198.0%	100.0%	-

目標値の設定根拠	・東日本大震災により被災した下水道施設等について、公共土木施設災害復旧事業により復旧を実施するに当たり、被災した流域下水道施設の復旧率を目標として設定し、3年間で完了する計画とした。
実績値の分析	・平成24年度には、7流域のうち5流域で復旧が完了し、残2流域(阿武隈川下流・北上川下流東部)についても全ての復旧工事は発注済みであり、一部繰越した工事が平成25年度残事業となっていた。 ・平成25年度では、全ての流域下水道施設において災害復旧を完了していることから、目標は達成したと考えている。
全国平均値や近隣他県等との比較	-



評価対象年度 平成25年度

政策 5 施策 3

県民意識調査結果									
調査実施年度 (調査名称)			平成24年度 (平成24年県民意識調査)		平成25年度 (平成25年県民意識調査)		平成 年度 (平成 年県民意識調査)		
県 全 体	この 施策に 対する 重視 度	重 要	高重視群 の割合	61.2%	87.1%	51.7%	82.0%		
		やや重要		25.9%		30.3%			
		あまり重要で はない	低重視群 の割合	3.0%	3.9%	3.7%	4.2%		
		重要ではない		0.9%		0.5%			
		分からない		9.0%		13.8%			
		調査回答者数		1,929		2,026			
	この 施策に 対する 満足 度	満 足	満足群 の割合	11.4%	50.7%	12.4%	51.1%		
		やや満足		39.3%		38.7%			
		やや不満	不満群 の割合	17.9%	23.8%	14.6%	18.8%		
		不 満		5.9%		4.2%			
		分からない		25.4%		30.1%			
		調査回答者数		1,910		1,998			
沿 岸 部	この 施策に 対する 重視 度	重 要	高重視群 の割合	62.0%	88.5%	52.7%	82.0%		
		やや重要		26.5%		29.3%			
		あまり重要で はない	低重視群 の割合	2.7%	3.3%	3.8%	4.2%		
		重要ではない		0.6%		0.4%			
		分からない		8.3%		13.9%			
		調査回答者数		786		820			
	この 施策に 対する 満足 度	満 足	満足群 の割合	11.1%	49.9%	12.7%	49.3%		
		やや満足		38.8%		36.6%			
		やや不満	不満群 の割合	17.8%	24.8%	14.8%	19.6%		
		不 満		7.0%		4.8%			
		分からない		25.3%		31.0%			
		調査回答者数		774		809			
内 陸 部	この 施策に 対する 重視 度	重 要	高重視群 の割合	60.8%	86.3%	51.3%	82.3%		
		やや重要		25.5%		31.0%			
		あまり重要で はない	低重視群 の割合	3.2%	4.3%	3.8%	4.5%		
		重要ではない		1.1%		0.7%			
		分からない		9.5%		13.2%			
		調査回答者数		1,135		1,171			
	この 施策に 対する 満足 度	満 足	満足群 の割合	11.7%	51.2%	12.3%	52.8%		
		やや満足		39.5%		40.5%			
		やや不満	不満群 の割合	18.1%	23.3%	14.4%	17.9%		
		不 満		5.2%		3.5%			
		分からない		25.5%		29.3%			
		調査回答者数		1,129		1,156			

※ 沿岸部 : 沿岸15市町  
内陸部 : 沿岸部以外の市町村

評価対象年度	平成25年度
--------	--------

政策	5	施策	3
----	---	----	---

宮城県震災復興推進事業											
評価番号	事業番号	事業名	平成25年度 決算見込額 (千円)	事業の状況							
		事業主体等	特記事項	事業概要			平成25年度の実施状況・成果				
1	① 01	公共土木施設災害復旧事業(下水道)	439,900	事業概要			平成25年度の実施状況・成果				
		被災した下水道処理施設等について、公共土木施設災害復旧事業により施設復旧を行う。			・7流域全ての施設において、災害復旧事業完了。						
	土木部	ビジョン 関連:取組31	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)				
	下水道課		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
				妥当	成果があった	効率的	廃止	-	12,883,090	24,351,990	439,900
2	① 02	地震対策下水道事業	49,799	事業概要			平成25年度の実施状況・成果				
		震災時の生活を支えるライフラインの機能を確保するため、流域下水道の処理場や管渠などの施設の耐震化を推進する。			・平成24年度で地震対策下水道事業は完了。平成25年度以降は、下水道長寿命化支援制度の創設に伴い、地震対策は流域下水道事業の中で長寿命化工事と合わせて実施することとなった。 ・平成25年度実施予定であった管渠施設の耐震化工事(平成24年度予算・既契約済み)が、不測の事態(入札不調)により、平成26年度へ繰越となった(H25にはH24からの繰越額を記載。)						
	土木部	ビジョン 取組31	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)				
	下水道課		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
				妥当	ある程度成果があった	概ね効率的	統合	-	160,985	799	49,799
3	① 03	流域下水道事業	2,646,815	事業概要			平成25年度の実施状況・成果				
		流域下水道の流入量の増加と施設の老朽化に対応するため、整備を行う。			・7流域中6流域において、処理場・ポンプ場・管渠施設の長寿命化・改築更新工事を実施(未実施:北上川下流東部流域)。 ・吉田川及び北上川下流流域において、処理場施設の増設を実施。						
	土木部	ビジョン 関連:取組31	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)				
	下水道課		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
				妥当	成果があった	効率的	維持	-	1,020,609	2,529,254	2,646,815
4	① 04	流域下水道事業(維持管理)	4,953,376	事業概要			平成25年度の実施状況・成果				
		清潔で良好な生活環境の確保と水質の保全を図るため、流域下水道施設の適切な維持管理を行う。			・維持管理指定管理者制度により、流域下水道施設(7流域)の維持管理を実施。 仙塩流域下水道施設 阿武隈川下流流域下水道施設 鳴瀬川流域下水道施設 吉田川流域下水道施設 北上川下流流域下水道施設 迫川流域下水道施設 北上川下流東部流域下水道施設						
	土木部	ビジョン 関連:取組31	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)				
	下水道課		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
				妥当	成果があった	効率的	維持	-	3,300,486	4,957,021	4,953,376

5	① 05	流域下水道事業 (調査)	51,100	事業概要				平成25年度の実施状況・成果			
				自然災害に対してより強固かつ柔軟な対応が可能となる生活排水処理基本構想や流域別下水道整備総合計画を策定するため、被災状況等の調査を実施する。				・仙塩及び阿武隈川流域別下水道整備総合計画を策定中(H24～H26)。 ・沿岸部流域(仙塩・阿武隈下流・北上川下流・北上川下流東部)及び鳴瀬川流域において、事業計画の見直しを行った。			
5	土木部 下水道課	ビジョン 関連:取組31		事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	成果があった	効率的	維持	-	2,877	12,850	51,100
6	② 03	水道施設復旧事業	153	事業概要				平成25年度の実施状況・成果			
				震災で被害を受けた市町村所管の水道施設について復旧支援を行う。				・沿岸部の市町が行う水道施設復旧国庫補助事業(23事業、約75億円)の事業開始のための支援を行った。			
6	緊急	環境生活部 食と暮らしの安全推進課	ビジョン 関連:取組31	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	成果があった	効率的	維持	-	2,266	356	153
7	② 04	広域水道緊急時バックアップ体制整備事業	68,570	事業概要				平成25年度の実施状況・成果			
				安全で安定的な水道用水の供給を図るため、緊急時におけるバックアップ用の連絡管や他事業との連結管などの整備を行う。				・連絡管敷設箇所調査設計業務を予定よりも進捗させ、工事着手を1年間前倒しで実施できる見込みとなった。			
7	企業局 水道経営管理室	ビジョン 関連:取組31		事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	成果があった	効率的	拡充	-	-	7,530	68,570
8	② 05	工業用水道基幹施設耐震化等事業	60,000	事業概要				平成25年度の実施状況・成果			
				工業用水を安定的に供給するため、管路、施設等の基幹水道構造物について耐震化工事や緊急時におけるバックアップ用の施設の整備を行う。				・大梶配水池の制水弁4か所のうち、残り1か所についてH24補助事業補正予算でH25に完了した。 ・H25においても補助事業の補正予算で配水池本体の耐震補強工事に着手する予定。			
8	企業局 水道経営管理室	ビジョン 関連:取組31		事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	成果があった	効率的	維持	-	-	62,408	60,000
決算(見込)額計		8,269,713									
決算(見込)額計(再掲分除き)		8,269,713									